

“働く” 経験 中学生、社会にデビュー

つやまっ子・デビュー14

6月、11月 市内全域

6月と11月に分けて、市内8中学校の2年生約1,100人が、事業所などで職場体験をしました。社会の規範や礼儀、あいさつの大切さや基本的マナーなどを肌で感じ、多くの人々とふれあうことは、学校では得られない貴重な経験となったことでしょう。

ご協力いただいた各事業所の皆さん、ありがとうございました。

11月9～11日、北陵中学校の**中島正寛くん**と**米澤直生くん**が市役所で職場体験をしました。2人は市民に行政の情報を伝えていく市の広報の仕事を体験。同じく職場体験中の中学生を取材して、このページの記事を書いてくれました。



米澤くん



中島くん



スウィートファクトリー アンジェ

おやつやデザートに欠かせないケーキなどのお菓子。そんなお菓子のお店『アンジェ』に上山さん、水島さん、原田さんが体験に行きました。焼き上がったクッキーを袋に入れたり、カウンターでお菓子を販売したり、初めての仕事に戸惑いながらも一生懸命頑張っていました。

「お菓子が好きなのでこの職場を選びました。実際にやってみると、お菓子作りは下準備が大変だということが分かりました。でも、とても楽しいです」と語ってくれました。

津山市社会福祉協議会

障害のある人やおじいちゃん、おばあちゃんの手助けをする仕事を体験した井上さんと苦田さん。公民館で一緒に体操やゲームをしたり、電話相談の話し相手も経験させてもらっていました。

この体験を生かして、これからも頑張ってくださいね。



城北保育園

北陵中の生徒の中には通った人もいる城北保育園に、長畑さん、岡田さん、芦田さん、小椋さん、太田さんが体験に行きました。

「子どもたちと遊ぶのは楽しい」と、積極的に先生の手伝いをしたり、園児たちと遊んだりしました。

「大変なことは？」と聞くと「いっぺんに話し掛けられると困る」と笑顔で答えてくれ、園児からどんぐりや折り紙のプレゼントをもらい、とてもうれしそうにしていました。



洋学の歴史が漂う新しい空間

新津山洋学資料館内見会

10月31日～11月3日

来年3月に開館する新津山洋学資料館。開館への期待が高まるなか、収蔵庫と展示室以外のエリアが市民や観光客に広く公開されました。この間、新館内のGENPOホールでは津山ふるさと検定試験や第61回文化講演会「宇田川家三代の学問-本草から博物学へ-」も行われました。

象設計集団の富田玲子さんにより設計された建物は、五角形を主に構成された集合体で、建築素材も色使いも多彩。「不連続統一」という設計の考え方で造られた建物は、個性的な建物の集合体でありながら、不思議と一体感が感じられ、その外観は違和感なく城東の町並みのなかに溶け込んでいます。正式開館が待ち遠しいですね。

今月のフラッシュ+

災害発生に備えて

津山市総合防災訓練

11月15日 吉井川河川敷

岩手・宮城内陸地震などの教訓から、山崎断層系を震源地とする大規模な地震が発生したという想定で防災訓練が実施されました。

自衛隊員による倒壊家屋からの被災者救出、医師会や消防・防災ヘリによる負傷者の救護・搬送、水道やガスなどのライフラインの確保などから、住民の地域防災・自主防災を重視した自主防災組織などによる初期消火・避難誘導と、本番さながらの大掛かりな訓練に、参加者たちはきびきびと取り組みました。

町内会から参加した**泉善夫さん**（加茂町戸賀）は「前はバケツリレーに参加し、今回初めて『搬送』を経験しました。毛布と竹で担架を作るところなど大変参考になります」と実働訓練の大切さを語ってくれました。

